

指定管理者評価シート

事業名	公園管理費	所管課(電話番号)	白石区土木部維持管理課(864-8125) 建設局みどりの推進部みどりの管理課 (211-2536)
-----	-------	-----------	--

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	①川下公園 ②北郷公園 ③豊平川緑地(下流地区)	所在地	①白石区川下2651番地3外 ②白石区北郷8条9丁目 ③豊平川堤外地
告示年月日	①平成7年3月31日 ②昭和52年3月31日 ③昭和43年7月1日	面積	①194,560㎡ ②47,454㎡ ③644,000㎡
目的	都市公園の健全な発達を図り、もって公共の福祉の増進に資すること。		
事業概要	川下公園、北郷公園、豊平川緑地(下流地区)の維持管理及び運営(園内の維持管理、管理事務、園内の安全確保に関する業務、有料施設の運営等)		
主要施設	①リラックスペラザ、野球場、テニスコート、パークゴルフ場 他 ②野球場、パークゴルフ場、テニスコート、ステージ 他 ③サッカー場、テニスコート、野球場、パークゴルフ場 他		
2 指定管理者			
名称	公園緑化協会・川下公園コンソーシアム((公財)札幌市公園緑化協会、横浜植木(株)北海道支店)		
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日		
募集方法	公募		
指定単位	施設数:3施設 複数施設を一括指定の場合、その理由: 当該施設群は全て公園または緑地施設であり、ほぼ全ての保守管理、修繕業務について共通化することでスケールメリットを活かした経費節減が可能であり、一括管理による効率性が著しいため、一括指定としたもの。		
業務の範囲	公園施設維持管理業務、有料施設の管理運営、ライラック文化の普及啓発業務、公園ボランティアに関する市民活動支援業務、施設の使用承認に関する業務、公園の利用促進に関する事業実施		
3 評価単位	施設数:3施設 複数施設を一括評価の場合、その理由: 管理施設は全て公園または緑地施設で、維持管理、施設内容に関しても類似性があり、また、有料スポーツ施設の利用受付についても、川下公園で一括して行っているため、各施設単位で評価したとしても差異が全く生じないことから、指定単位での一括評価とする。		

II 令和3年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価			
1 業務の要求水準達成度						
(1) 統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>《理念》 私たちは、札幌市民との相互信頼を基に、みどりを通して心豊かな札幌の実現と次代への継承に貢献します。</p> <p>《運営方針》 理念の達成のため、5つの方針(公平、公開、効率、協働、環境)を柱に時代やニーズに即し、公園の価値を高め指定管理者として市民の満足度向上に努めます。</p> <p>《基本方針》 1. 平等・公平な利用の機会を確保し、公共の福祉増進の場としての利用効果を高める。 2. 関係法令・条例等を遵守し、利用者や市民の声の反映に努め、開かれた管理運営による、安全で安心、快適な利用環境を提供する。 3. 資源・施設の長寿命化を念頭に置き、効率的な管理運営による経費削減を図り、安定した質の高いサービスを提供する。 4. コミュニティ活動の拠点の一つと位置づけ、市民や関係諸機関との連携を強化し、資源の積極的な活用を図り、活動の場としての魅力を高める。 5. 東洋一を誇るライラックの森の価値を向上させ、「ライラック文化」の発信・普及を行う。 6. リラックスプラザを中心に、屋外・屋内の運動施設を連携させ、幅広い層の心身の元気回復と健康づくりの場としての価値を高める。</p>	<p>公園の管理運営を通じてライラック文化の発信を目指すとともに、リラックスプラザを有し三世代が利用する川下公園の特長を踏まえ、理念・運営方針・6つの基本方針に則り管理運営に努めた結果、コロナ禍という特異な状況下ではあったが、概ね良好に業務遂行ができた。</p>	A	B	C	D
	<p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>「公共施設としての公園・緑地に来られるお客様の第一の期待は、公園・緑地の平等・公平利用であると考え、お客様の期待以上の満足を持ち帰っていただくことを基本に、公園・緑地の平等利用確保の取り組みを行う」との方針を策定した。</p> <p>方針に沿って、「利用者の平等・公平な利用機会の確保にあたり、研修、指導、啓発等を徹底し、全スタッフの意識を高める」ことに取り組み、不法行為防止の啓発指導、ホームページ等による新鮮な情報提供、コンプライアンス研修等を行いスタッフの能力及び意識の啓発を図った結果、年間のアンケート調査では、接客満足度85%、総合満足度90%となった。</p>	<p>情報発信、研修、指導、啓発等を積極的に実施しており、アンケート調査の結果においては、接客満足度、総合満足度ともに札幌市要求水準に達することができ、コロナ禍における対応を含め良好な接客及び、公園管理ができた。</p>	業務計画を適切に策定し、この計画に基づき適正な管理を行った。			

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

- ▼ 札幌市環境マネジメントシステムに則り、各種帳票を提出するとともに、公益財団法人札幌市公園緑化協会が運用する環境マネジメントシステムに則った管理運営を行った。
- ▼ 事務用品の購入については、グリーン購入ガイドライン指定品の購入を従来から継続して行っている。
- ▼ スタッフに対して年1回、4月に環境マネジメント研修を実施した。
- ▼ 使用量の大きいリラックスポラザのボイラー用燃料については、平成22年度以降、A重油からエコ重油に転換しており、地球温暖化ガス(二酸化炭素)排出量の大幅削減につながっている。
- ▼ 重油、灯油、軽油、ガソリンなどの化石燃料について節約に努めたものの、使用量としては前年値からの削減には至らなかった。
- ▼ 家庭用廃食油の回収ボックスをリラックスポラザ玄関内風除室に常時設置し、家庭からの廃食油回収を常時行った。
- ▼ 車両を使用する際は、アイドリングストップを励行し、EMSの目的・目標を遵守し、環境に配慮した管理運営に取り組んでいる。
- ▼ 剪定枝、花がら、落葉等の植物残渣をリサイクルし維持管理資材として園内に還元している。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

- ▼ 統括責任者、統括責任者代理を配置した。
- ▼ 業務分担、指揮命令系統、連絡系統等を適切に定めた。
- ▼ 仕様書のとおり職員を配置した。また、令和4年度に向けた臨時職員欠員補充は令和4年2~3月に採用試験を行い、9名を採用した。
- ▼ 研修計画に基づき、コロナ禍における実施の可否を調整し、接遇研修や安全衛生教育等を実施した。
- ▼ 各所定機関に対して労働関係法令に則った申請・報告書を届け出るとともに、スタッフが安心して働くことのできる雇用環境を確保するほか、年1回職員の健康診断を行った。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

教育訓練、安全講習、造園緑化技術の習得・向上教育等を行い、スタッフのスキル向上を図るとともに、アンケート調査の実施及び分析を行い、利用者ニーズを把握した改善を行った。事故や怪我、苦情については報告書・対応票を作成し、組織全体で即時に情報共有することにより、類似の事故や苦情発生の予防に役立っている。

EMS(環境マネジメントシステム)の職員研修を年度初めに行い、全職員が環境に配慮した公園管理への意識を共有するとともに、ボイラー用Bio重油の使用、園内発生植物残渣のリサイクルや自主イベントでの環境教育の啓発、ゴミの減量化、電気使用量の節約に努め、EMSを適正運用して、環境に配慮した公園管理を行うことができた。引き続き、環境負荷低減に繋がる取組を実施したい。

感染症対策のため中止した普通救命講習以外は、感染状況を見極め実施時期を調整し適切な研修、取組、対応を行うことができた。

スタッフのスキルアップを行うとともに、利用者のニーズ・意見を改善に繋げた。また、組織内での情報共有により、適切な対応ができた。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

リラックスプラザ設備運転、プール監視、館内清掃、設備保守点検、水質・空気環境測定、レストラン営業、駐車場の開閉、機械警備、遊具定期点検、車椅子昇降機点検、高圧電気設備の保安業務、消防設備点検、自動ドア保守点検、屋外公衆トイレ清掃、塵芥処理、排煙設備等建築設備点検等の点検については、指定管理者の直営作業では技術的・効率的な対応が困難であることから、事前に札幌市より承認をいただいた上で専門業者に対する委託を行い、適正な業務遂行を実施した。
また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、消毒清掃を日々実施したほか、常駐する委託業者に対して日々の検温や体調管理の報告などを求め感染防止に努めた。

実施状況の通り、計画に沿って適正に発注・履行確認を実施した。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

▼ 運営協議会の開催状況は下表のとおり

開催日	協議・報告内容
3月9日	管理運営に関する経過報告及び利用者からの要望、施設修繕、次年度の計画等について札幌市と協議
<協議会メンバー> 白石区土木部維持管理課 公園緑化係長、事務係長、事務係担当職員 建設局みどりの推進部みどりの管理課 公園維持係長、公園管理係長、公園管理係担当職員 公益財団法人札幌市公園緑化協会 担当課長、担当職員2名 横浜植木(株)北海道支店長、担当社員	

実施状況の通り開催し、今後の課題の共通認識を図るとともに、次年度の管理運営スケジュールについて協議することができた。

▼ 川下公園利活用協議会の開催状況は下表のとおり

開催日	協議・報告内容
3月 (書面開催)	コロナ禍の公園運営・事業実施、利用状況や発生事故等の報告
<協議会メンバー> 北東白石連合町内会、北東白石地区青少年育成委員会、川北小学校、東川下小学校、北都小学校、北都中学校、北海道立白石高校、北東白石児童会館、川北児童会館、北東白石まちづくりセンター、公益財団法人札幌市公園緑化協会川下公園管理事務所	

予定していた川下公園利活用協議会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため参集型の会議は中止としたが、運営状況や事業報告書を送付し書面開催として行った。

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

- ▼ 資金管理については、指定管理業務や自主事業等、公園ごとに区分している。札幌市監査事務局による監査が行われたが、内部監査や経理事務担当者の随時確認により、指摘事項はなかった。
- ▼ 当協会の規定に基づき、現金や金券類、預金通帳等の施錠管理や帳簿類の内部監査を年2回実施しているほか、公認会計士2名による外部監査を導入している。
- ▼ 現金等の取扱いに関しては、現金取扱規定を整備しており、管理体制の強化及び不祥事防止の取り組みを行っている。

▽ 要望・苦情対応

川下公園:施設管理の要望0件、苦情1件
北郷公園:施設管理の要望0件、苦情1件
豊平川緑地:施設管理の要望3件、苦情0件

- ▼ 要望・苦情対応については、親切丁寧かつ迅速に対応し、経過・処置を含めスタッフ間、指定管理者代表本部、札幌市への情報共有ができる体制を整えている。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)

- ▼ アンケートは過年度まで自主事業の参加者を中心に実施しているが、今年度も多くの自主事業の開催を見合わせたことや新型コロナウイルスによる休館のためアンケート調査機会が限られたことから、感染者数減少に合わせ12月以降にリラクスパラザや浴室・プール利用者を対象に実施した。その中での要望、意見を管理運営に反映させている。
- ▼ 要望、意見については、リラクスパラザ内にアンケートボックスを設置し、管理運営に反映させた。
- ▼ 月毎、四半期毎、年度での札幌市への報告は、マネージャーによるセルフモニタリングを記載して報告を行った。

札幌市の検査・監査には適切に対応できた。
不正行為や事故発生の未然防止のため、複数名による現金等の確認を徹底した。
不正経理等はなく問題はない。

今年度はコロナ禍の影響による運動施設の利用に関する苦情があり、コロナ過での対応に際して、周知方法や見解の相違に苦慮した。
また、豊平川緑地米里地区における迷惑行為など、これまで想定しなかった事案の発生もあった。
いずれの事案も今後の管理運営に生かし、同様事案の発生抑制に努めるよう、札幌市と情報共有しながら対処したい。

職員の接客態度及び公園の総合評価では昨年度以上の好評価をいただくことができた。今後もこの結果に満足せず、コロナ禍の対応を含め利用者の方に喜ばれるよう努力を重ねたい。

(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む)		A B C D
	<p>▼ スタッフの雇用に関して、労働基準法、最低賃金法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、健康保険法、厚生年金保険法、雇用保険法、労働契約法、男女雇用機会均等法、次世代育成支援対策推進法、女性活躍推進法、育児休業・介護休業等に関する法律、労働保険の保険料の徴収等に関する法律、その他関連する法令等に基づき、主として以下のような届出・対応等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全てのスタッフに対し、北海道最低賃金889円(令和3年10月1日発効)以上の時給を支給した。 ・施設で働く職員に対し、時間外労働・休日労働及び深夜残業をさせた場合、それぞれ法定割合以上の割増賃金を支払った。 ・就業規則・要綱の改正を行い、札幌中央労働基準監督署に適切に届け出た。 ・全スタッフの就業時間や休日等について、労働基準法を遵守した。 ・スタッフに時間外労働又は休日労働をさせるにあたり、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、札幌中央労働基準監督署に届け出た。 ・全てのスタッフを労災保険適用とし、条件を満たすスタッフを雇用保険に加入させた。 ・労働保険料等算定基礎賃金等の報告を北海道労働局へ提出し、労働保険料を納付した。 ・スタッフの勤務形態、家族状況等に応じて健康保険・年金保険資格を取得するよう、適切に届け出を行った。 ・年1回の定期健康診断及びストレスチェックを実施した。 ・短時間雇用管理者を選任し、北海道労働局へ届け出た。 ・有期雇用契約者のうち、無期転換申込権が発生した者に対して周知し、希望の申し込みを随時受け付けた。 ・次世代法及び女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を公開・周知した。 ・女性活躍推進法に基づく認定制度「えるぼし」において、女性の活躍推進に関する状況等が優良な団体として「認定段階3」を受けたことを周知した。 ・安全衛生委員会を設置し、毎月1回、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、各公園の担当課長がリモートワーク等により出席して委員会を開催し、職場の安全確保及び健康障害の防止に係る議題について検討し、その結果を各公園・施設のマネージャーを通してスタッフに周知して、健全な職場環境の実現に努めた。 ・維持管理作業従事者を対象に、作業における安全確保や機械の取扱いに関する講習を実施した。 ・ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、育児休業等の取得奨励、職場内コミュニケーションの活性化、有給休暇取得の奨励、ノー残業デーの設定などの取組みを行った。 ・公的資格の取得支援、接遇や安全・技術等に関する内部研修の実施、優秀なスタッフや高年齢者の継続雇用など、雇用環境の整備により、市民サービスの向上等に結びつく取組みを行った。 ・第三者への委託業務について、受託者に当該業務従事者の労働環境に関わる情報提供を求めた。 	<p>指定管理施設の現場と本部事務局との連絡調整を密にするとともに、関係機関への必要な届出を迅速かつ確実に行うなど、労働関係法令を遵守し、すべての関係手続きについて適切に対応できた。</p> <p>当団体での労働災害発生ゼロを目指して、毎朝のKY活動、ヒヤリハット事例の共有、安全大会の開催(新型コロナウイルス感染拡大防止の為、各公園単位で開催)、安全講習の実施等に取り組んだ。</p> <p>事故が発生した際には、安全衛生委員会において、原因検証と再発防止の検討を実施した。</p> <p>安全な職場環境の実現と、スタッフの雇用環境の向上を進めるなかで、市民サービスの向上につなげることができた。</p>	<p>業務計画を適切に策定し、この計画に基づき適正な管理を行った。</p>

	<p>▼ 正規職員を新たに雇用する際、現在の非正規職員から希望者を募り、内部登用試験を実施した結果、非正規職員1名を正規職員に転換した。</p> <p>▼ 労災事故は、4月に作業スタッフが終業時に足首を捻傷する(捻挫事故)が発生した。以降の安全教育において、暑さや疲労による体力低下によって引き起こされる事故の発生抑制のための水分補給や休憩・休養意識の徹底を図り、再発防止に努めた結果、同様事故の発生を防ぐことが出来ている。</p>										
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>▼ 事故等の発生時に対応するため、緊急連絡体制の確保、消防訓練、災害時の訓練、プール・浴室での事故対応訓練、浴室等の汚物発生時の対応マニュアル化等を実施し利用者の安全確保に努めた。</p> <p>▼ 普通救命講習Ⅱ(AED操作含む)の受講を例年実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。</p> <p>▼ 拾得物取り扱いについては遺失物法に沿ったマニュアルに則り処理・対応をすると共に道警会計課へ特例施設占有者の申請を行い、サービス向上に努めた。</p> <p>▼ 損害賠償責任保険は仕様に適合したものに加入した。</p> <p>また、保険加入の必要な自主事業実施時には、参加者から傷害保険料を支出してもらい対応した。</p> <p>▼ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、リラックスプラザや管理事務所内で多くの人に触れる場所の消毒や各所への消毒液の設置、定期的な換気、注意喚起看板(マスク着用・3密回避など)の掲示を行った。自主事業を行う際には、密にならないような内容の工夫を行うだけでなく、スタッフや参加者にも手洗い・消毒の励行や検温を実施し、注意喚起を行った。</p>	<p>実施状況のとおり、新型コロナウイルスの影響を受け計画通りに出来なかった研修があったが、コロナ禍において最大限実施可能な業務・運営・訓練・対策を実施できた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> <p>業務計画を適切に策定し、この計画に基づき適正な管理を行った。新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を徹底し、施設の安全・安心な利用環境を整えた。</p> <p>緊急事態宣言の発令等に伴う施設の閉館期間中は、閉館時にしか実施できない作業を前倒して実施するなど、最大限の創意工夫を行った。公園・緑地の維持管理では、課題を的確に捉え、その改善を積極的に図るなど、より適切な対応を行った。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<p>業務計画を適切に策定し、この計画に基づき適正な管理を行った。新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を徹底し、施設の安全・安心な利用環境を整えた。</p> <p>緊急事態宣言の発令等に伴う施設の閉館期間中は、閉館時にしか実施できない作業を前倒して実施するなど、最大限の創意工夫を行った。公園・緑地の維持管理では、課題を的確に捉え、その改善を積極的に図るなど、より適切な対応を行った。</p>			
A	B	C	D								
<p>業務計画を適切に策定し、この計画に基づき適正な管理を行った。新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を徹底し、施設の安全・安心な利用環境を整えた。</p> <p>緊急事態宣言の発令等に伴う施設の閉館期間中は、閉館時にしか実施できない作業を前倒して実施するなど、最大限の創意工夫を行った。公園・緑地の維持管理では、課題を的確に捉え、その改善を積極的に図るなど、より適切な対応を行った。</p>											

▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)

- ▼ ライラックの森内に宿根草や一年草でハンギングバスケットを用いた写真スポットなどを設置するなど、景観向上に努めたところ利用者からは大変好評であった。
- ▼ ライラックの森園路のグランドレベルが低くなったことや、砂利等が露出、歩きにくい箇所があるため石粉を敷均し、車いす利用者などが観賞しやすい環境づくりに努め、苗木の生育環境を整えるため、養生室・ミスト室などの補修も定期的に行っている。
- ▼ 「日本植物園協会第38回第2分野(国公立植物園)運営会議」(全国オンライン会議)において、市木であるライラック普及の取り組みとして、当公園のライラックコレクションの維持管理や普及啓発活動の紹介を行った。
- ▼ 7月から8月上旬にかけて高温、少雨であったため、パークゴルフ等有料施設の芝生、バラ花壇等植物への灌水作業を行い、秋以降のコンディション良好に繋げることができた。
- ▼ 寄贈サクラ植樹区域の排水性の向上を図るため、植え替えが可能なものについては植栽床の嵩上げを行い植え直したほか、エリア内全域にチップを敷き均し、将来に向けての改善を図った。
- ▼ 夏季、来園者で賑わうバーベキュー広場と遊水施設の壁泉は、3密が避けられないことから昨年度に引き続き閉鎖・休止となったが、カナル(遊水路)と噴水は、7月8月の2カ月間稼働した。
- ▼ 5/3～7/11及び8/30～9/30の新型コロナウイルス感染拡大防止による閉館期間中は、照明器具清掃、浴槽タイル目地補修等、年次整備期間中に行っている作業を前倒しし、施設再開に備えた。
- ▼ 11/29～12/13までの年次整備期間中、貯湯槽清掃消毒、熱交換器洗浄整備、浴室内壁洗浄・消毒、浴室天井再塗装、プールコーキングなど、日常保守点検では行えない特別作業を実施した。

▽ 防災

- ▼ 消防訓練等の防災計画を策定するとともに、コロナ禍により実施時期は年度後半にずれ込んだが、消防訓練を実施した。また、専門業者による点検時に不具合が発見された場合は、迅速に修繕を行った。

公園・緑地の維持管理については状況に応じ、適切な管理ができた。
また、当公園の特徴であるライラックを中心とした魅力向上・訴求力向上に向けた対策を手がけることができた。

設備系のトラブルに関しては、迅速かつ適切に対処したことにより、営業への支障を回避することができたが、耐用年数が迫っている設備が多くなってきているため、長寿命化を含め更新・改修を計画的に進め、営業や利用者の安全に支障を来さないよう努めていきたい。

防災訓練は新型コロナウイルス感染対策のため計画より遅れた時期の実施であったが、スタッフのスキルアップを図ることができた。

(4)事業の計画・実施業務	▽ 受付・接客業務のレベルアップ	他公園での苦情等を周知・共有し、接客・応対で同様のトラブル発生の抑制を図っている。	A	B	C	D
	<p>▼ スタッフへの苦情・要望等の情報を共有し、接客対応の向上を図った。また、利用者アンケート調査による接客満足度は85%であり、札幌市要求水準を満たすことができ、かつ昨年以上の高評価であった。</p> <p>▽ 協働・協力団体との連携</p> <p>▼ ボランティア活動 例年川下公園ボランティア「りらら」によるリラックの花がら摘み、剪定、挿し木を実施しているところだが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため今年度は中止した。 なお、夏休み期間中(7月27日～8月12日)に中学生2名によるボランティア活動が3回行われ、リラックスプラザ館内での消毒作業やプール監視員の補助、リラックスプラザ受付の補助などを行っていただいた。</p> <p>▽ 市民の自主活動及び交流の支援業務</p> <p>▼ 白石消防署北東白石地区消防団による消防訓練への協力や、ALL白石おやじの会による「しろフェス」への協力、北東白石地区青少年育成委員会による「雪あそびフェスティバル」においてテントの貸し出し、雪山作り、雪上ラフティングポートの実施など、例年は地域活動への支援を積極的に行っているが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。また、「白石区ふるさと会」の活動の一環として毎年参加している「白石区まち美化プログラム」も今年度は中止となり、北白石サイクリングロードの清掃奉仕活動も実施できなかったが、次年度は貢献できる活動を行いたい。</p>		<p>コロナ禍により様々な活動制限があり、今年度も市民ボランティア活動や協同事業は中止となった。 なお、川下公園ボランティア「りらら」の登録者数減少が続いており、参加者の獲得に苦慮しているが、次年度以降は遣り甲斐のある活動の充実と積極的な広報活動を行いたい。</p>	<p>業務計画を適切に策定し、この計画に基づき適正な管理を行った。 コロナ禍により、自主事業やイベントのほとんどが中止となったが、感染拡大防止を図りながら一部の事業を実施したり、イベントの代替措置(年中行事に合わせたリースや装飾の設置(職員制作))を考案して実施するなど、努力が見られた。</p>		

▽ 近隣小中学校に関する学習機会の提供業務

- ▼ 白石区ふるさと会による学生の職業体験「白石でっち奉公」を例年受け入れているが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。
- ▼ 近年、近隣の川北小学校から総合学習への協力依頼を受け、公園職員から園内の動植物を通じ環境教育に関わる授業を行っていたが、コロナ禍により中止となった。

白石でっち奉公の受入により、公園の存在意義と実務を学ぶ機会を提供することができ、地域との効果的な連携を図ることができていたため、次年度以降に積極的に受け入れたい。

▽ さっぽろライラックまつりの開催

- ▼ 「第63回さっぽろライラックまつり」は新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン開催となり、川下公園会場については、ライラックガイドツアーをオンライン(YouTube)で開催した。なお、ライラックの魅力発信の強化を図ることを目的として花の見頃期間をPRするため「リラコレ(ライラックコレクション)」と称して5月22日～6月6日までの期間で、地域の学校・幼稚園、市民活動団体等と連携し、イベント内容の充実化と認知度の向上を図るイベントを計画していたが、コロナ禍により中止とした。

ライラックまつりは当初の予定とは異なる形態での開催となるほか、川下公園での実開催には至らなかったが、見頃を迎えたライラックを観賞するため、多くの来場者を迎えることとなった。

川下公園のライラックが市民・観光客に浸透していることが感じられ、次年度以降のまつり開催に期待したい。

▽ ライラックに関する相談業務

- ▼ ライラックまつり大通会場及び川下会場にて、例年ライラックの相談会を実施するほか、電話等での相談にも対応しているが、今年度は個別の電話相談のみの対応とした。

<p>▽ 水中健康教室・ヨガ教室の開催</p> <p>▼ 新型コロナウイルスの影響により、参加者に高齢の方が多くを考慮し、年間を通して中止としたが、特に水中健康教室は再開を待つ声が多いことから、次年度は感染状況を注視しながら開催に向け準備をしたい。</p> <p>▽ フリースタイルダンス教室の開催</p> <p>▼ 新型コロナウイルスの影響によるリラクスパラザ休館中は開催を見送ったが、開館期間中は、感染対策を行いながら実施した。ロコミや広報活動を通じ、徐々に参加者も増えつつあり、次年度以降より一層の参加者増に期待したい。 ・フリースタイルダンス教室参加者数：延べ294名</p> <p>▽ PG大会の開催</p> <p>▼ 例年開催している「夏季パークゴルフ大会in川下公園」、ならびに「川下公園パークゴルフ秋季大会」をコロナ禍のため中止することとした。</p> <p>▽ ネイチャークラフト講座の開催</p> <p>▼ 12月のクリスマスに合わせたナチュラルリース作りは密にならないよう時間内随時受付スタートとするなど感染対策を行い実施したが、2月のひな祭りをテーマとしたクラフト作りは、コロナ感染者増の影響により中止とした。それに代わって、リラクスパラザ受付前に年中行事に合わせた職員制作のリースや飾りを置き、来園者に楽しんでもらうことができた。 ・ナチュラルリース作り参加者数計：13名</p> <p>▽ 川下公園秋まつりの開催</p> <p>▼ 令和元年度に、リラクスパラザの20周年を記念し開催した川下公園秋まつりを、好評につき今年度も計画していたが、新型コロナの影響により中止とした。</p> <p>▽ 川下公園スノーラフティングボートの開催</p> <p>▼ 冬のアクティビティ充実と利用者ニーズに応えるため、検温・消毒などの感染症対策を充分に取りながら、川下公園スノーラフティングを1月中の土日祝日4日間開催し、冬休み中のファミリーを中心に多くの方にご利用いただいた。 ・川下公園スノーラフティング参加者数：550人</p> <p>▽ ウィンターフェスティバルの開催</p> <p>▼ 冬季のイベントとして例年ウィンターフェスティバルを開催しているが、新型コロナの影響により中止とし、スノーラフティングのみの開催としたが、過年度は参加者も多く、好評であったことから、次年度の開催時には多くの集客を得られるよう、広報に力を入れたい。</p>	<p>計画した自主事業の結果は実施状況のとおり、多くの事業が中止となったため、例年に比べ総参加者数は減少した。</p> <p>今年度も緊急事態宣言発令があったほか、解除後も新型コロナウイルス感染拡大防止を図る必要があったことから、中止や密にならない内容の検討などを行いながら実施した。</p> <p>なお、実施の際は検温、消毒、密を避ける対策などを行い、公園利用者・参加者の感染防止に努めることができた。</p> <p>また、中止となったライラックまつりやクラフト系のイベントの代替策として、ライラックの森や公園内への花修景強化を行ったほか、リラクスパラザ玄関周辺に年中行事に合わせた季節感あふれる装飾を行い、来園者・来場者に楽しんでいただくことができた。</p>
--	--

(5)施設利用に関する業務

▽ 利用件数等

		R2年度実績	R3年度計画	R3年度実績
浴室・プール (川下)	件数(件)	21,024	-	20,266
	人数(人)	21,024	-	20,266
	稼働率(%)	-	-	-
野球場 (川下)	件数(件)	239	-	152
	人数(人)	7,802	-	7,397
	稼働率(%)	30.1	-	27.8
庭球場 (川下)	件数(件)	738	-	826
	人数(人)	3,682	-	5,820
	稼働率(%)	27.6	-	30.4
パークゴルフ場 (川下)	件数(件)	-	-	-
	人数(人)	7,043	-	4,254
	稼働率(%)	-	-	-
サッカー場 (米里)	件数(件)	569	-	356
	人数(人)	18,448	-	16,730
	稼働率(%)	18.5	-	18.6
野球場 (北郷)	件数(件)	133	-	139
	人数(人)	2,463	-	3,323
	稼働率(%)	18.7	-	20.0

▽ 不承認、取消し、減免、還付

- ▼不承認 0件
- ▼取消し 0件
- ▼減免 10件
 - 川下公園テニスコート 8件
 - 川下公園野球場 2件
 - 豊平川緑地サッカー場 0件
 - 北郷公園野球場 0件
- ▼還付 133件
 - 川下公園テニスコート 43件
 - 川下公園野球場 21件
 - 豊平川緑地サッカー場 49件
 - 北郷公園野球場 13件
 - 北郷公園野球場照明 7件

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2度にわたり浴室・プール(有料施設)を含めリラックスプラザが臨時休館となるなど、コロナ禍の影響によりプール・浴室利用者数は減少し、前年比96.3%であった。同様に屋外有料スポーツ施設についても閉鎖し、再開時もコロナ感染への懸念があつてか利用は伸びなかった。なお、浴室・プールの利用にあたっては、利用時に検温・問診票記入の上、更衣ロッカーを始め更衣室の消毒・換気を行うなど感染拡大防止対策を講じた。また、屋外有料スポーツ施設の利用にあたっては、3密を避けるなどの掲示や呼びかけを行うなどの対策を講じた。

A	B	C	D
<p>コロナ禍の中で、浴室・プールや各種運動施設の利用者数(稼働率)が減少してしまったことについては、やむを得ないものとする。感染拡大防止対策を徹底し、施設の安全・安心な利用環境を整え、円滑な施設運営に努めたことは評価する。</p>			

	<p>▽ 利用促進の取組</p> <p>【プール・浴室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族割引実施 ・敬老の日(9月20日)は高齢者料金(65歳以上)を無料とした ・JTBベネフィットえらべる倶楽部加入者割引施設として登録 ・川下公園共通「Kポイントカード」実施 ・浴室、プールレンタル品の貸出(水泳帽、ビート板等) <p>【パークゴルフ場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川下1日券実施 ・パークゴルフ・浴室共通券実施 ・家族割引実施 ・敬老の日(9月20日)は高齢者料金(65歳以上)を無料とした ・スポーツの日(7月23日)は利用料金を無料とした ・利用者還元策(スタンプカード)実施 ・川下公園共通「Kポイントカード」実施 ・クラブ・ボールの洗い場を設置 ・レンタルクラブ貸出 <p>【川下公園・北郷公園野球場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・固定ベースを設置 ・グラウンド整備道具の増設 <p>【川下公園テニスコート・野球場、北郷公園野球場、米里サッカー場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの日(7月23日)は利用料金を無料とした ・レンタルテニスラケット貸出 	<p>今後も利用者のニーズに応え、且つ、利用促進に繋がるような利用券発行、運動用器具貸出しサービス等について検討し実施したい。</p>	
--	--	---	--

(6)付随業務	▽ 広報業務		A B C D
	<p>▼ インターネットを活用し、タイムリーな情報発信に努めた。コロナ禍の開閉館情報や感染対策情報のほか、公園内施設の利用可否情報を発信した。また、ライラックをはじめとする季節の花や自然情報、イベントの告知・実施情報などを発信し、公園の利用促進を図った。</p> <p>ホームページ閲覧数</p> <p>①川下公園 140,175件(昨年度比 117.9%) ②北郷公園 8,867件(昨年度比 115.4%) ③豊平川緑地 11,789件(昨年度比 101.8%)</p> <p>▼ 自主事業の広報チラシ・ポスターを作成した際は、連携する公共施設窓口、町内会、近隣学校関係、観光案内所等に配布するとともに、マスメディアへの投げ込みも行っているが、今年度は新型コロナウイルス感染者数の減少傾向にあった12月にダンス教室・スノーラフティングの告知チラシを配布し、集客を図った。</p> <p>▼ ライラックの開花情報をはじめイベントなどトピックに関しては、広報さっぽろへの掲載依頼や広報課への投げ込みのほか、新聞やイベント情報誌への掲載依頼を行っているが、コロナ禍の感染拡大抑制のため、今年度は自粛した。</p> <p>▼ さっぽろライラックまつりの広報は、札幌市観光企画課、一般社団法人札幌観光協会と連携し、大通会場と連携した広報活動を行っているが、今年度のまつりはオンライン開催となったため、実行委員会と協働して動画配信によるライラックガイドツアーのみに留めた。</p> <p>▼ 公園ホームページについてのウェブアクセシビリティ研修を担当職員対象に実施した。また取組確認・評価表を、令和4年3月28日に公開した。</p> <p>▽ 引継ぎ業務 前回から継続指定を受けており、引継ぎ業務はない。</p>	<p>広報業務は、広報さっぽろをはじめ、チラシ、ポスター、ホームページ、マスメディアなどの媒体活用のほか、ライラックまつりでは新聞折込を行っているが、今年度は感染拡大とそれに伴う自主事業の中止に伴い、ホームページでの広報が主となった。ホームページのリアルタイムな情報発信は、コロナ禍での市民の情報取得手段として有効であったことから、利用の可否や制限の有無について効果的に活用することができ、市民サービスの向上に繋がった。各公園及び緑地のホームページ閲覧数は、前年度を上回っており、市民の関心度の高さも窺えた。今後もこまめに情報発信することで公園利活用の活性化とサービスの向上につなげたい。</p>	<p>業務計画を適切に策定し、この計画に基づき適正な管理を行った。HPの情報更新が適時・適切になされており、情報提供ツールとして有効に機能している。</p>

2 自主事業その他

▽ 自主事業

- ▼ レストラン(リラパーク、臨時売店)、自販機手数料事業
売上高1,923千円
- ▼ イベント事業(ダンススクール等)
売上高406千円
- ▼ 売店事業(リラックスプラザ受付、プール・浴室受付、パークゴルフ受付)
売上高663千円
- ▼ 施設事業収入(水中健康教室)
売上高0円
- ▼ その他収入(広告収入・振替収入)
売上高0円

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、リラックスプラザの臨時休館や時短営業に伴い、来館者数が大幅に減少したため、レストランの売上は大幅に減少した。
また、自主事業やイベントのほとんどを中止したことにより計画額には程遠い売上高となった。
なお、レストランの営業や実施した自主事業に際しては、飛沫飛散防止パーテーションの設置、座席の間引き、空気清浄機の設置、定期的な換気などのほか、スタッフの毎日の検温・体調管理を徹底し感染防止対策に努めた。

A	B	C	D
コロナ禍の中で、売上が伸びなかったことについては、やむを得ないものとする。各種事業について、中止を含めた適切な対応を行ったことについては評価する。			

▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等

- ▼ リラックスプラザの設備運転、プール監視、館内清掃、設備保守点検、水質・空気環境測定、レストラン営業、駐車場の開閉、機械警備、遊具定期点検、車椅子昇降機点検、高圧電気設備の保安業務、消防設備点検、自動ドア保守点検、屋外公衆トイレ清掃、塵芥処理についての第三者委託は市内企業に発注した。
- ▼ 浴室・プール用の水中車椅子2台を常備している。
- ▼ 障がい者用駐車スペースを確保した。
- ▼ 冬期間駐車場での転倒防止のため、砂・凍結防止剤の散布を行った。
- ▼ リラックスプラザに設置している車椅子昇降機は専門業者と保守点検契約を結び、故障には迅速に対応している。
- ▼ 公園・緑地のバリアフリー情報をホームページで公開した。

概ね計画通り実施できた。
例年、「ライラックまつり」開催時に障がい者支援団体が印刷したポストカードをクイズラリーの景品としていたが、イベントの中止により業務発注が出来なかった。次年度は新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら活用・配慮に取り組みたい。

▽ 新型コロナウイルス感染拡大防止への対策

- ▼ 公園スタッフの検温実施・記録、各所へのアルコールの設置、1時間毎の換気作業、食堂へのパーテーション設置・座席の間引き、更衣室ロッカーの間引き、ドライヤーエリアへのパーテーション設置、リラックスプラザ・浴室・プールの利用人数制限、浴室・プール利用者の問診票記入、屋内遊具の消毒清掃、館内の適時消毒作業、職員事務所への飛沫防止パーテーション設置、応接室への飛沫防止パーテーション設置、空気清浄機の設置、レストランの時短営業、風船の使用禁止、水飲み台・ジェットタオルの使用禁止、入り口通路の出入口区分け

可能な限りの消毒や換気、飛沫飛散防止に努めながら新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めることができた。

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

		A	B	C	D
実施方法	令和3年12月19日から令和4年3月26日の間に川下公園(自主事業:ネイチャークラフト講座含む)利用者に対してアンケートを実施し、121人から回答を得た。	総合満足度・接客満足度ともに、要求水準を上回っており、適切と判断する。 要望・苦情については、親切・丁寧かつ迅速に対応している。			
結果概要	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な満足度は、要求水準70%に対し90%となり、20ポイント上回る結果となった。 ・接遇に関する満足度は要求水準80%に対し85%となり、5ポイント程上回った。 ・来園目的としては、「子どもの遊び」が57%と多く、次いで「入浴」、「プール」であった。 ・公園情報の入手方法は、「口コミ」が38%と一番多く、広報媒体としては「公式ホームページ」・「その他インターネット」であった。 ・利用者の来場地は、「白石区」が40%と圧倒的に多く、次いで「厚別区」・「東区」が10%程度となった。 ・来場者構成では、「家族で」が45%、「子どもと」が31%であった。 				
利用者からの意見・要望とその対応	【意見・要望等】 <ul style="list-style-type: none"> ・浴室の入浴剤について、「現状で満足」が45%と多く、次いで「もっとバリエーションを増やして」が41%・「季節ものの入浴剤を」が24%であった一方、3%と僅かではあったが「入浴剤は無い方が良い」という意見・要望をいただいた。 【対応等】 <ul style="list-style-type: none"> ・様々な要望を踏まえながら、利用者に満足感を得ていただける選択・抽出を検討していきたい。 				
	対面式アンケート調査が、コロナ禍のため実施困難である時期があったため、コロナ感染が減少傾向にあった時期のイベント開催時やリラクスパラザ利用者からアンケート調査を行ったところ、総合満足度・接客満足度ともに、要求水準を達成することができた。特に総合満足度は要求水準を20ポイント上回ることができた。コロナ禍や厳冬期のアンケートではあったが、安心して子どもを遊ばせることができる施設として高い評価をいただけた。これらアンケート結果や要望等を生かし、次年度以降も満足して利用いただけるよう管理運営に努めたい。				

4 収支状況

▽ 収支 (千円)

項目	R3年度計画	R3年度決算	差(決算-計画)
収入	181,803	168,586	▲ 13,217
指定管理業務収入	175,843	164,757	▲ 11,086
指定管理費	157,869	154,181	▲ 3,688
利用料金	17,974	9,641	▲ 8,333
その他	0	935	935
自主事業収入	5,960	3,829	▲ 2,131
支出	181,803	169,353	▲ 12,450
指定管理業務支出	180,162	166,588	▲ 13,574
自主事業支出	1,641	2,765	1,124
収入-支出	0	▲ 767	▲ 767
利益還元	0	0	0
法人税等	0	213	213
純利益	0	▲ 980	▲ 980

▽ 説明

- ▼ 指定管理費収入については、「札幌市都市公園の維持管理に関する協定書の改定協定書(第4回)」による4,425千円の減額、「札幌市都市公園の維持管理に関する協定における新型コロナウイルス感染症対策に関する確認書」による737千円の増額があり、計画より3,688千円の減となった。
- ▼ 利用料金収入は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月3日から7月11日、8月30日から9月30日の期間に有料施設を閉鎖したこと、その後もコロナ禍の影響により施設利用が低調となったため、計画より8,333千円の減となった。
- ▼ 自主事業収入は、運動教室の中止や手数料収入の減により、計画より2,131千円の減となった。
- ▼ その他収入は雇用調整助成金等による。
- ▼ 指定管理業務支出は、新型コロナウイルス感染拡大防止による休館に伴う光熱水費と燃料費減少のため、計画より13,574千円の減となった。
- ▼ 自主事業支出は、事務局経費等の増加のため、計画より1,124千円の増となった。
- ▼ 利益還元については、公益法人の特質上、収益の約半分を繰り入れている。

収入については、新型コロナウイルスによる休館と自主事業の中止による減収及び指定管理費の減額により全体的に減少となった。支出については、休館や時間短縮営業などで光熱水費が削減されたほか、減収に併せて、経費の節約に務めた。一方、自主事業については、新型コロナウイルスの規制緩和の流れから次年度以降期待がもてる。

A	B	C	D
<p>コロナ禍の影響や燃油価格の高騰により、収支が計画から大きく狂うこととなったが、経費の節減に努め、赤字幅を最小限に抑えることができた。</p> <p>今後もコロナ禍の影響や物価の高騰が続くことが見込まれるが、状況を見極めながら自主事業を再開させるなどし、収入を確保して利益還元を期待する。</p>			

<確認項目> ※評価項目ではありません。

<p>▽ 安定経営能力の維持</p> <p>▼当協会の財務状況等は、令和3年度、赤字決算になる見込みはなく、運営安定化積立資産の留保金もあるため、安定経営能力に問題はない。</p>		<p>適 不適</p>
<p>▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応</p> <p>▼各条例の規定に則り、全て適切に対応した。</p> <p>▼情報公開請求はなかった。</p> <p>▼当公園の管理等に係るオンブズマンの実地調査はなかった。</p> <p>▼公園利用者に対する告知として、暴力団活動や暴力団の資金源となる活動に公園を使用できない旨の文書を園内に掲示した。</p> <p>▼物品購入や業務の委託等に際して、暴力団員や暴力団関係事業者を相手方としないよう徹底した。</p>		<p>適 不適</p>

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>[川下公園・北郷公園・豊平川緑地(下流地区)] 川下公園・北郷公園・豊平川緑地(下流地区)の管理運営に関して、日々変化するコロナ禍の対応に柔軟に対応し、市民サービスを低下させることなく対応できた。また、夏は降雨量が少なく、冬は降雪量が非常に多かったため、緑地管理や施設管理においても、非常に機転の利いた対応が求められる年度であったが、市民サービスが低下することなく運営できた。</p> <p>▼川下公園 ▽緑地管理においては、寄贈サクラの植栽地が排水不良などによりサクラの樹勢が弱くなっていたため、移植及びマルチング等を実施し、健全な生育環境を整えられるように努めた。花修景については、リラックスプラザ中庭テラスに宿根草花壇を増設し、浴室側の斜面にはルピナス等の植栽を行い、公園の景観向上に努めた。また、降雨の少ない時期があり、芝生の維持に苦慮したが、野球場やパークゴルフ場などの有料施設には散水ホース・簡易スプリンクラー等で灌水を行い、利用に支障が出ないように管理できた。 6月の強風でパークゴルフ場や樹林地には多数の倒木があったが迅速に処理し対応した。 ▽施設管理においては、老朽化する屋外トイレの外壁(木製部分)塗装を行い、景観を損なわないように努めたほか、壁面を保護し長寿命化を図った。 近年、スケートボードを行う利用者が増加しているため、園路(平板)の破損が増えている状況だが、直営作業にて、がたつきや目地補修を行い修繕した。 年次整備においては、高圧洗浄機による高所の清掃及び浴室天井の塗装などを行い整備した。 ▽新型コロナウイルスの度重なる変異株の発生により、コロナ対策がさらに重要になり、体温測定と消毒が同時にできる機器を追加で2基設置したほか、リラックスプラザ内の多目的遊具を15時にスタッフ総出で除菌作業を行うなど利用者が安心して施設利用できるように感染対策に努めた。</p>	<p>[川下公園・北郷公園・豊平川緑地(下流地区)] 川下公園開園から23年が経ち、地盤が弱い地域のため徐々に園内のいたるところで地盤沈下が起こり、集水柵や暗渠管の盛り上がりが目立ち始めている。利用者の安全にも関わることから優先順位を定め補修を進めたい。 また、近年のゲリラ豪雨により近隣道路の冠水などが十分に考えられる地域のため、雨天が予想されるときは集水柵の点検を実施するなど、地域住民の安心安全にも配慮し適切に対応したい。</p> <p>▼川下公園 ▽ライラックの管理において、大雪の影響で枯死するライラックが約20株あった。一昨年から補植用のライラックを育成していたため、空き床に補植し景観の向上や維持に努めたい。 また、ネズミの食害により、矮性ライラックのポット苗が約500ポット被害を受けた。今後、ライラックまつりで無料配布する苗の育成も急務となっている。 ▽芝生広場で不陸が発生し、芝刈作業(芝生管理)に支障が出ているため、不陸修正を行う必要がある。 ▽施設管理において、園路脇の側溝付近のアスファルトが沈下し、作業車両が通過するときにグレーチングが跳ね上がることもあるため、アスファルトを擦り付け危険のないように努めたい。 ▽新型コロナウイルスの対応も新しい様式に日々移り変わる中で、自主事業の再稼働も重要な課題の一つとなっている。感染対策に努めながら、利用者が安心して参加できるように事業を心がけ、市民サービスの向上を図りたい。</p>

▼北郷公園
 ▽緑地管理においては、概ね作業工程通り実施できた。倒木や落枝による事故もなく良好な管理ができた。
 ▽新型コロナウイルス感染拡大による制限下の影響か、近年多く苦情が寄せられるバスケットの騒音問題の発生はなかった。一方、ベンチ破壊が2件続き、被害状況を訴えつつ不法行為の抑制のための看板を設置したところ、当該看板に放火される事故が発生した。都度、被害報告を提出するとともに警察による警邏強化を依頼したり、臨時の夜間巡回強化期間を設けるなど対策を行った。

▼豊平川緑地(下流地区)
 ▽計画及び緑地内の状況に応じて、計画業務実績表のとおり作業を実施し、概ね計画通り管理作業を行うことができた。
 ▽施設の老朽化に伴い、公衆トイレの配管トラブルや漏水が多発したが、適切に修繕を行ったほか、長期的に施設が利用できない場合は隣接するトイレの案内掲示をしながら管理を行うことができた。また、大雪の影響で倒壊の恐れが生じた四阿については、雪下ろし作業を実施するなど安全管理も徹底できた。
 ▽利用者指導やマナー啓発活動については、市内の炊事広場等が利用不可であったことにより、バーベキューをする利用者が例年より多く、発見次第中止するように指導を行ったほか、ゴミの投棄があった場合には他の利用者が不快に思う前に回収するなど適切に管理ができた。

▼北郷公園
 ▽町内会・学校団体・警察等と情報共有しながら、不法行為等への対策を講じていかなければならない。
 ▽ゲリラ豪雨等で公園内の雨水が道路に溢れる可能性もあるため、春・秋や雨天前の集水桝点検が重要になっている。近隣住民が安心して暮らせるように適時対応したい。

▼豊平川緑地(下流地区)
 ▽緑地の需要がコロナ禍により高まる一方、違法行為やマナーを守らない利用者が増えている。特に近年はドローンなどの禁止行為や他の利用者が不快に思うような行為が見受けられる。こういった行為については、引き続き指導を行い、誰もが安心して利用できる緑地管理に取り組みたい。
 ▽使用不能となっている公衆トイレについては、代替トイレの設置や管理手法を札幌市と協議しながら、早急に善処したい。
 ▽令和4年度はサッカー場利用者もコロナ禍前の水準に戻ると予想しているため、迷惑駐車により他の利用者に危険が及ばないよう、特に休日の巡視点検を強化したい。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
令和3年度も、コロナ禍の影響をもろに受け、管理業務や自主事業の実施に苦慮する場面が多かったが、利用者の安全面に最大限配慮し、出来得る対応をしっかりと行ったことで、利用者の満足度を高めることができた。以上のことから、適切な維持管理がなされたものと評価する。	改善指導を行う点は特にないが、施設の老朽化を考慮した適切な維持管理や中長期的な視点も踏まえた適切な緑地管理を引き続きお願いしたい。今後もコロナ禍の影響が続くことが見込まれるが、状況を見極めながら自主事業を再開させるなどし、収入を確保して利益還元につなげてもらうことも期待したい。